

集中治療部 (ICU)

1. 診療科の概要

集中治療部(ICU) は札幌医科大学附属病院の中央診療部門として重症患者の全身管理を担う。当院 ICU は closed ICU の運営形態を取っており、専従の集中治療医が 24 時間 ICU に常駐し重症患者の治療にあたっている。対象とする疾患は、主に院内発症の臓器不全症例(敗血症性ショック、急性循環不全、急性呼吸不全、急性腎障害、急性肝不全、重症急性膵炎、DIC など)、大侵襲手術やハイリスクの術後患者、重症の神経筋疾患・自己免疫疾患など多岐にわたる。そのため、特定の臓器や疾患に限らない幅広い知識を求められ、集中治療に特化した最新の医療知識や技術を駆使し最善の治療を提供している。

また、ICU は Rapid Response System (RRS) の中心的役割を果たしており、院内急変患者を対象とする STAT コール、重症化の可能性が高い患者を対象とする MET*コールへの対応も担っている。さらに、ICU 入室前の RRS だけでなく、ICU を退室した患者の病棟訪問なども行い、ICU への入室や再入室を回避できるような取り組みを積極的に推進している。

* MET: Medical Emergency Team

2. 臨床研修指導医

指導責任者(部長): 升田 好樹

指導医: 巽 博臣、数馬 聡、黒田 浩光、赤塚 正幸

3. 研修担当者

氏名: 黒田 浩光

連絡先: hkuroda.biglobe@gmail.com

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻: 8 時 40 分

集合場所: 南病棟 3 階 ICU

5. 到達目標

- ・病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
<ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常(下痢・便秘)、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害(尿失禁・排尿困難)、興奮・せん妄、抑うつ、終末期の症候>
- ・病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることことができる。
<脳血管障害、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症>
- ・CV カテーテル挿入、胃管挿入、気管挿管、A ライン挿入などの手技を行うことができる。
- ・基本的な栄養療法・輸液療法を行うことができる。
- ・血液ガス分析や血液検査、X 線写真や CT 画像などから、適切な人工呼吸器や循環補助装置、血液浄化療法を行うことができる。

